

総会経過概要

第76回全国労働委員会連絡協議会総会は、令和3年11月18日（木）から19日（金）にかけて、昨年に引き続きウェブ会議で、中労委及び都道府県労委の公労使各側委員、事務局長のほか、各事務局職員を含め、約570名の参加者により開催された。

18日には、岩村正彦全国労働委員会連絡協議会会長（中労委会長）の開催挨拶、古賀篤厚生労働副大臣のビデオレターによる挨拶の後、岩村会長が議長となり、公労使各側副議長の指名が行われ、公益側副議長に畠山稔委員（中労委）・両角道代委員（中労委）、労働者側副議長に弓立浩二委員（愛媛）・臼杵豊委員（和歌山）、使用者側副議長に別所浩己委員（三重）・五十嵐亮二委員（群馬）がそれぞれ指名された。

続いて、荒木尚志全国労働委員会運営委員長（中労委・公）から前回総会以降の運営委員会審議経過についての説明が行われ、了承された。また、田畑一雄全国労働委員会連絡協議会事務局長（中労委事務局長）から、労働委員会の活動状況についての報告が行われた。

続いて議題審議に入り、第一議題として、「労働委員会における口外禁止条項の取扱いについて」（九州ブロック公労使提案）の経験と見解の交流が行われた。

提案理由説明

國弘 達夫（長 崎・公）

意見発表

山下 竜一（北海道・公）

野村 芳広（神奈川・労）

石津 友啓（京 都・使）

19日には、第二議題として「労働委員会におけるデジタル化に向けた現状と課題について」（北海道・東北ブロック公労使提案）の経験と見解の交流が行われた。

提案理由説明

長谷川 大（岩 手・公）

意見発表

原 市（島 根・公）

西野 勝義（愛 知・労）

本田 美紀（愛 媛・使）

その後、第三議題として「被申請者のあっせん不応諾に対する説得について」（中部ブロック公労使提案）の経験と見解の交流が行われた。

提案理由説明

高木 利定（石 川・公）

意見発表

松尾 邦之（香 川・公）

島田 一英（島 根・労）

山城 勝（沖 縄・使）

午後からは、「雇用類似の働き方と労使関係」と題して、鎌田耕一氏（元中央労働委員会会長代理）による講演が行われた。

講演終了後、次期運営委員の指名が行われ、岩村会長の閉会挨拶をもって総会は終了した。

総会終了後、第1回の運営委員会が開催され、運営委員長に荒木尚志委員（中労委・公）が、副運営委員長に前田和馬委員（佐賀・公）がそれぞれ選出された後、令和4年の総会に関する事項等について、協議が行われた。



全国労働委員会連絡協議会・岩村会長による挨拶



古賀厚生労働副大臣による挨拶
(ビデオレター)



鎌田 耕一氏による講演



総会の様子（運営委員長報告）